挿入形ヒューミディスタット

DIS-C1070

挿入形ヒューミディスタット DIS-C1070は、還気ダクト内の相対湿度を検出して、加湿あるいは除湿装置を二位置制御する湿度調節器です。
単極双投（SPDT）の接点構成を有しており、1台で加湿にも除湿にも使用できます。
設定に便利な大径のダイヤルが付いています。

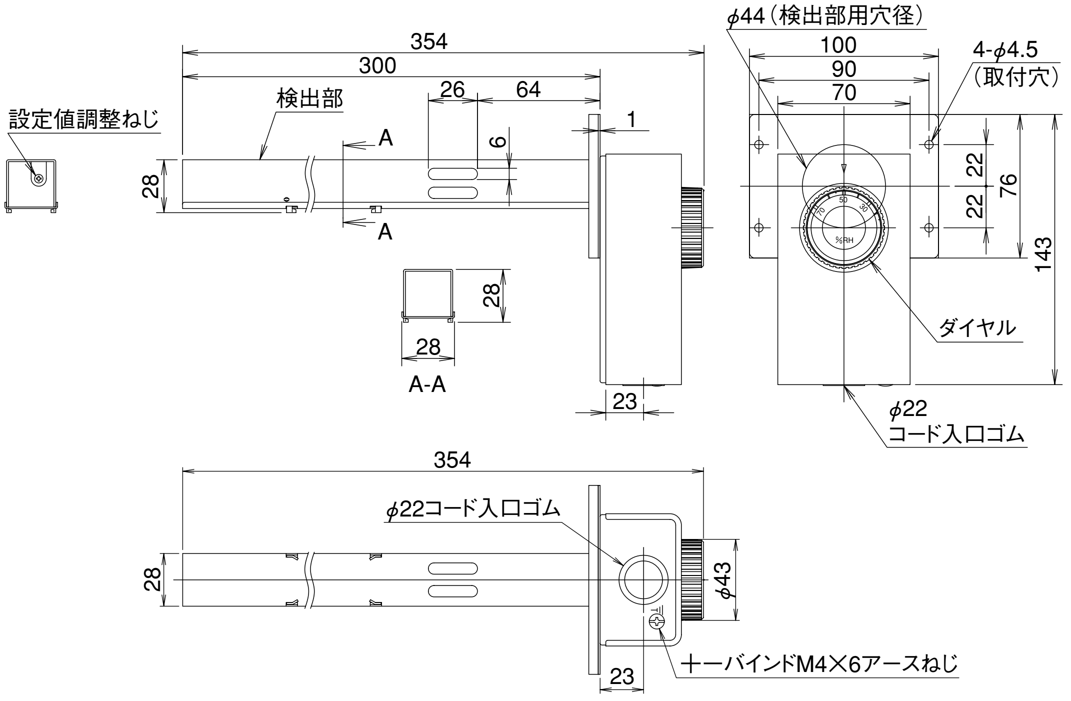
仕　様

形番	DIS-C1070
制御動作	二位置動作
調整範囲	30〜70%RH
動作すき間	約7%RH（50%RH）　設定値の下側
接点形式	単極双投（SPDT）
電気定格	

定格電圧（V）／定格電流（A）		P.F.力率 cosφ	AC 125	AC 250	DC 24
無誘導負荷電流		1.0	0.05〜4.5	0.05〜2	0.05〜1
誘導負荷電流	常時電流	0.75	0.05〜3	0.05〜1.5	0.05〜0.4
	瞬時電流	0.45	0.05〜15	0.05〜7.5	0.05〜2

接触抵抗	50mΩ以上
絶縁抵抗	DC500Vメガーで100MΩ以上
絶縁耐力	AC1500V　1分間に耐えること
限界風速	15m/s
許容温度	10〜40℃
保存温度	−10〜55℃
感湿部追従特性	湿度変化速度：1%RH当たり5分以上
材質	カバー：SPCC+塗装
	本体：SPCC+三価クロメートめっき
質量	0.55kg

外形寸法図（単位：mm）



安全上のご注意

ご使用前に本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、本説明書はいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警　告

●配線、保守点検の際は、必ず電源を切ってから行ってください。感電の恐れがあります。
●製品に水をかけないでください。感電の恐れがあります。
●通電中カバーは絶対に外さないでください。感電の恐れがあります。
●コード入口ゴムを外さないで配線してください。または、コンジットを使用してください。コードが傷ついて感電の恐れがあります。

取付および配線上のご注意

⚠注　意

●ダイヤル、端子ねじ以外のねじは回さないでください。誤作動の恐れがあります。
●検出部は300 mmと長いですが、衝撃などを与えないでください。誤作動の恐れがあります。
●ダクトへの本体取付には、M 4のねじを使用してください。
●締め付けトルクは、次に示すトルクに従って行い、ねじの締め付け過ぎにご注意ください。
　・端子ねじ、ダクト（壁面）取付ねじ：78.5 N・cm（8 kgf・cm）
●次に示す場所への取付はしないでください。誤作動の恐れがあります。
　・家具、積み荷などによって、室内の循環空気が妨げられる場所
　・窓やドアの近くで、すき間風の影響を受ける場所
　・直射日光、または放射熱を直接に受ける場所
　・冷暖房装置から直接の温風、冷風を受ける場所
　・温水蒸気または冷水ダクトから1 m以内の場所
　・振動の多い場所
　・ほこりの多い場所
　・オイルミストなどを含む、汚れた風の当たる場所
●結線は、IV 2 mm^{2}以上の電線を使用してください。
●結線は、全て電気設備技術基準に従って行ってください。
●電気定格を越えた負荷のかかる機器には使用しないでください。接点不良の恐れがあります。
●ダイヤル設定値と制御温度には差が生じることがあります。設置後は必ず試運転などで作動湿度を確認してください。
　誤差があった場合は、誤差を見込んでダイヤル設定を行ってください。または「操作方法」内の「補正方法」に従って補正を行ってください。
　　例：ご希望の制御点が50%RHに対してダイヤル50%RHにセット、実際の制御点が60%RHだった場合
　　　　ダイヤル設定50%RH→40%RHにする。
　精度維持のため、1回以上／年の点検をお奨めします。

取付方法および結線

■取付場所

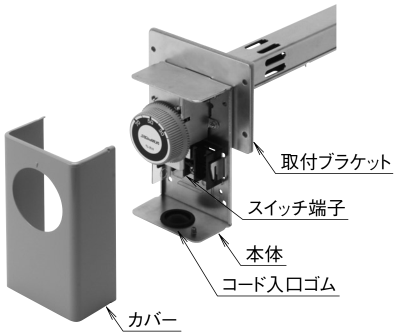
・被測定流体の代表的な湿度を検出でき、規定の風速を確保できる場所を選んで取り付けてください。
・検出部全体が被測定流体中に入るようにし、気流が側面から当たるように取り付けてください。
・取付位置は、できるだけ振動の少ない所を選んでください。
・高温の蒸気が直接かかることのないようにしてください。
　直接高温の蒸気がかかると、限界動作温度範囲を超える恐れがあります。
・検出部は水平または下向きに取り付けてください。
　検出部を上向きに取り付けないでください。

■取付

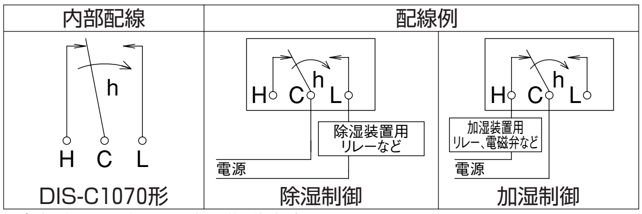
・ダクトへの取付は、ダクト側面に検出部挿入用φ44 mmの穴と本体取付用φ3.3 mmの下穴4か所をあけます。
・φ44 mmの穴に検出部を挿入し、取付ブラケット4か所のφ4.5 mm穴を利用して本体を固定します。
・断熱材が先に巻いてある場合は、断熱材を一部取り除いて本製品を取り付けた後、すき間に断熱材をつめてください。

■結線

・カバーを取り外し、コード入口ゴムに穴をあけます。



・コード入口ゴムに電線を通します。
・電線の被覆をむき、M3.5圧着端子を付けて、スイッチの端子に結線します。



注）矢印は湿度上昇時の作動方向を示します。
・カバーを取り付けます。

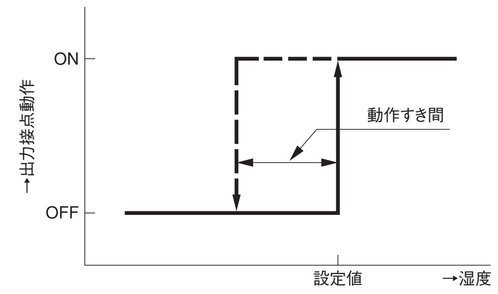
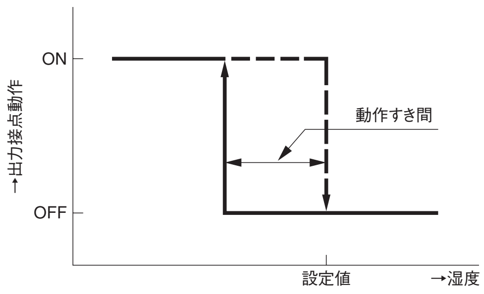
設定および操作方法

・設定は本体正面のダイヤルをご希望の湿度に目盛を合わせることにより行います。
・動作すき間は固定式ですので、設定できません。
・補正方法
　万一、制御されている室内湿度の平均値が、ダイヤル設定湿度とズレている場合、設定値調整ねじで補正できます。
　室内湿度にダイヤル設定値を合わせた後、設定値調整ねじにより機器の運転状態を確認しながら補正してください。
　設定値調整ねじズレ防止のため、補正後は必ずボンドロックを行ってください。

作動確認

・給電前に結線を必ず確認してください。
・本製品を正しく取り付け後、周囲環境に1～2時間程度なじませてください。
・必ず試運転を実施し、全システムが完全に機能することを確認してください。

■動作

除湿制御	加湿制御
・配線接続 端子Ⓒ-Ⓛ間接続	・配線接続 端子Ⓒ-Ⓗ間接続
・湿度上昇過程において、周囲湿度が設定値と等しくなると出力接点はオンします。 湿度下降時は設定値より動作すき間（約7%RH）分低下したとき、出力接点がオフします。	・湿度上昇過程において、周囲湿度が設定値と等しくなると出力接点はオフします。 湿度下降時は設定値より動作すき間（約7%RH）分低下したとき、出力接点がオンします。
	

使用上の制限

本製品は、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いることを目的として設計・製造されたものではありません。
また、特に高信頼性が要求される用途に使用する際は、あらかじめ弊社へご相談ください。

保証範囲

本製品の保証期間は、別途に両社間で定めのない限りは、納入後1年間とさせていただきます。
保証期間内に弊社の責による故障が生じた場合には、製品の修理または交換させていただきます。
ただし、次に該当する場合は、この保証範囲外とさせていただきます。
　①貴社の不適切な取扱い、または使用による場合。
　②弊社以外の改造、または修理による場合。
　③天災、災害、争乱、その他不可抗力による場合。
また、ここでいう保証は本製品単体の保証を意味し、本製品の故障や瑕疵により誘発される損害は除かせていただくものとします。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニックEWエンジニアリング株式会社
https://panasonic.co.jp/ew/peweg/
お問い合わせ・ご相談窓口：技術統括部　品質部
03-3575-7024